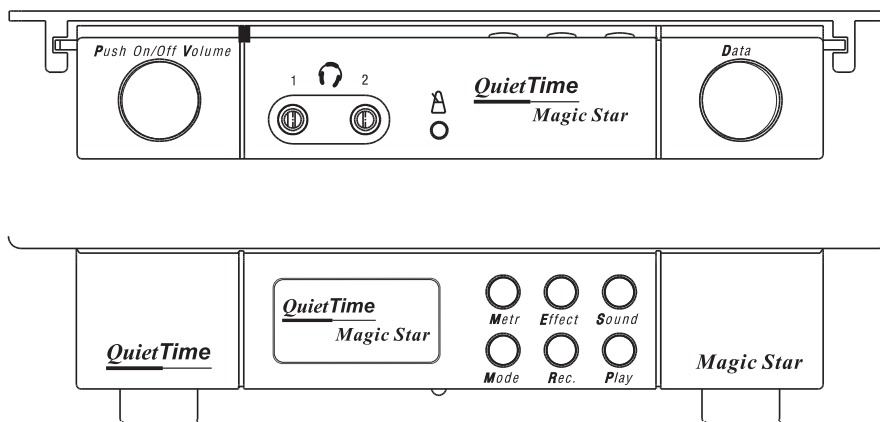


# 取扱説明書

ピアノ消音ユニット

QuietTime Magic Star





## 安全上の御注意

安全に使っていただくためのご注意

この注意事項には電氣的衝撃、火災、身体の負傷について書かれています。  
内容をよく読まれまして製品を安全にご使用ください。

- 1、製品をご使用になる前に、取扱説明書をよく読んでください。
- 2、製品に合った専用の電源アダプターを必ずご使用ください。
- 3、どのような場合にも、絶対に製品を分解しないでください。
- 4、電源の極性に合ったプラグをご使用ください。
- 5、電源コードは他の製品とは隔離し、他の重い物やピアノの重みにより押さえつけられないようにしてください。
- 6、製品を直射日光や、湿気の多い所、高温、極寒を避けてください。
- 7、長期間ご使用にならない場合は、コンセントを抜いてください。
- 8、修理が必要な場合、専門の技術者にご依頼ください。
- 9、本ユニットは本体のみで作動しますが、他の外部機器とつないで使用される場合、出力の特性及び出力差により破損することがありますのでご注意ください。
- 10、長時間、大音量での演奏や不自然な姿勢での演奏は避けてください。  
特に大音量での長時間演奏は、聴力損失の原因になりますのでご注意ください。
- 11、自然な空調がある場所に設置するのが望ましい。
- 12、特に水やコーヒーのような飲料水などが、鍵盤やユニット本体にこぼれないようご注意ください。  
もし水などをこぼした場合、電源を切って修理を依頼してください。  
修理前に電源を入れたりしますと、本体、キーセンサーなどの破損の原因になります。
- 13、次のような場合は専門技術者に修理依頼してください。  
電源コード、アダプターが破損した場合  
製品に重いものを落としたり、液体をこぼした場合  
製品の一部分が露出した場合  
製品が正常に動作しなくなった場合  
外観に致命的なダメージを受けた場合
- 14、本ユニットを使用しない場合もピアノの基本調律は定期的の実施してください。
- 15、鍵盤ナラシ(高さ調整)やアクション整調の後は、本ユニットの正確な動作のため初期設定を必ず行ってください。

この度はピアノ消音ユニットシステム、Magic Starをお求めいただきましてありがとうございます。

本ピアノ消音ユニットを、通常のアコースティックピアノに取り付けることにより、

ヘッドホーンを使った消音型ピアノとしてご使用になれます。

演奏情報は、アナログ式光センサー検出方式により、ピアノタッチそのままの強弱を表現できます。

本ユニットは、デジタル楽器としての基本性能を備えておりますので、ピアノ音を始めとした

さまざまな楽器音128音色が楽しめます。

また、レッスンに便利なメトロノーム機能、演奏を録音する録音再生機能など、

レッスンにはかかせない機能も備えています。

そして、デジタル楽器ならではの楽しみとして他のデジタル楽器との接続、パソコンに接続しての

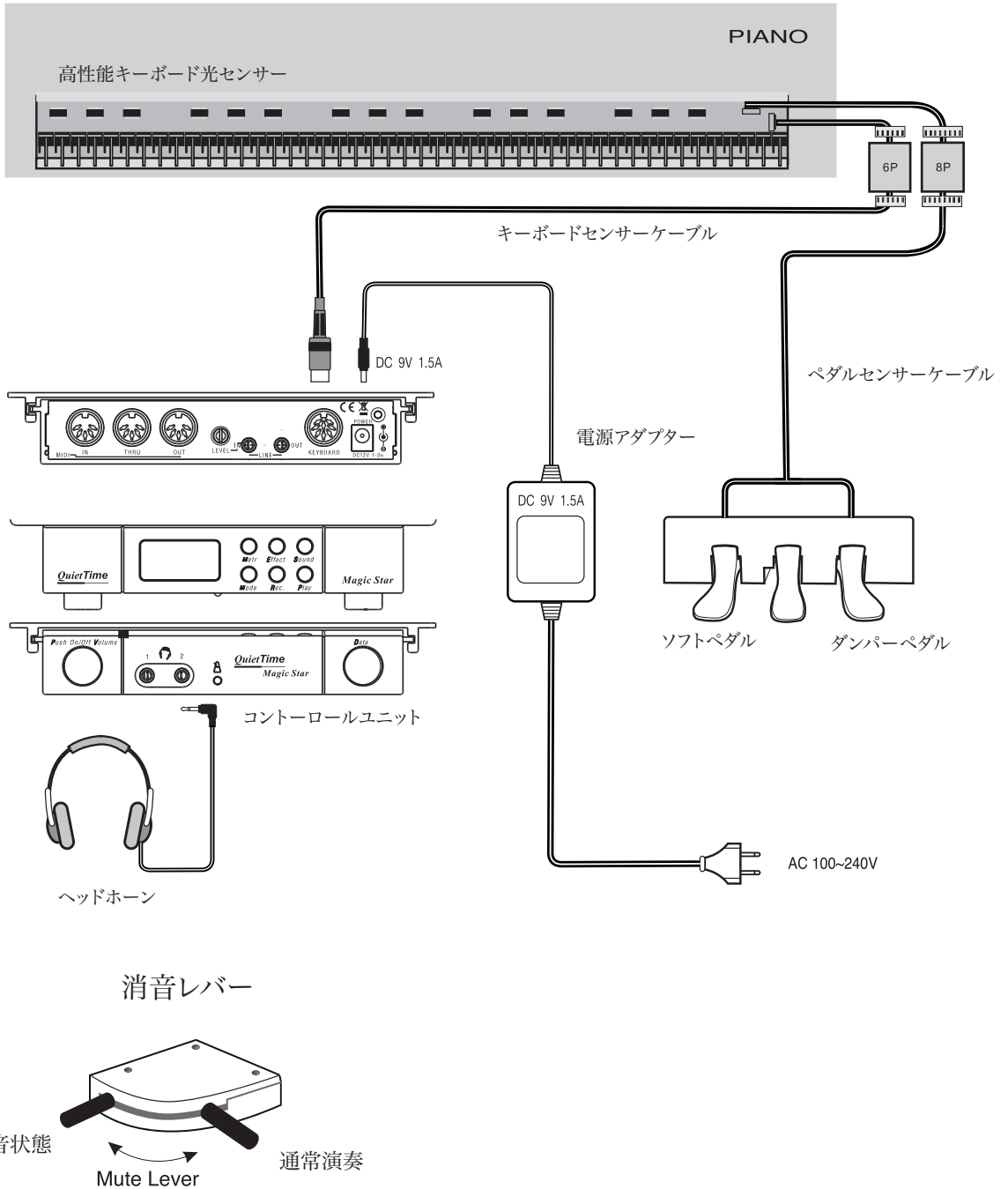
MIDIキーボードとしての使用など、楽しみ方の世界を広げるのはあなた次第です。

## 目次

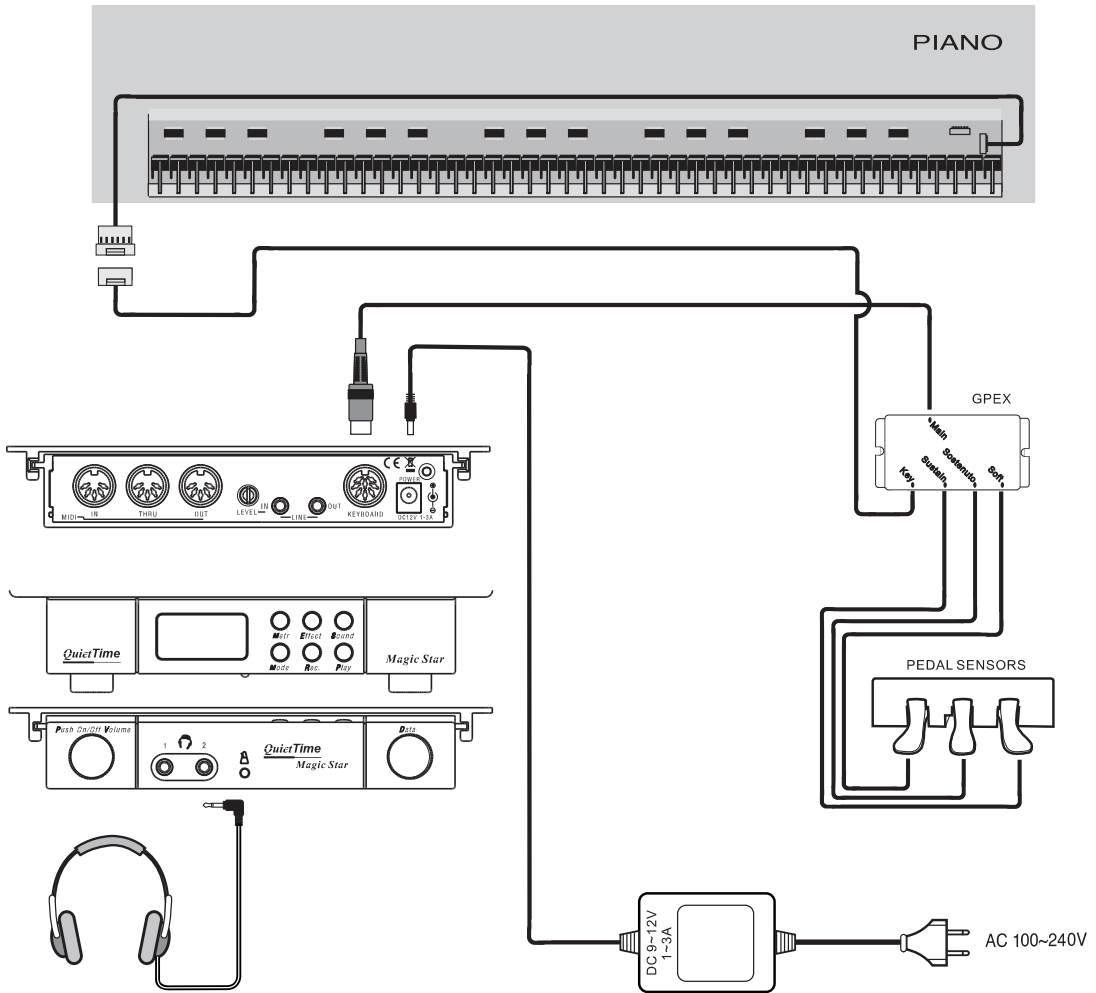
安全上の注意	1
消音システムの 接続図	3~4
各部の名称 及び機能	4~6
消音ユニット基本操作	7~10
メトロノーム	12
録音、再生、デモ演奏	13~14
ピアノ鍵盤で操作する多機能の呼び出し	15~16
その他の設定	17
GM音色表	18
故障かな?と思われる前に	19
システムの初期設定	20~21
鍵盤ごとの感度調整	22
他のオーディオ機器との接続	23
他の MIDI 機器との接続	24
MIDI Implementation Chart	25
製品の仕様	26

# I. *Magic Star* 消音システムの接続図

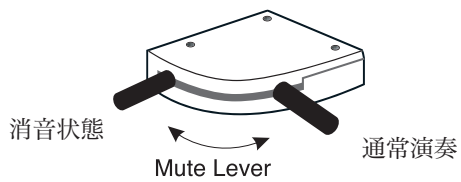
## システム配線図 アップライトピアノ



システム配線図 グランドピアノ

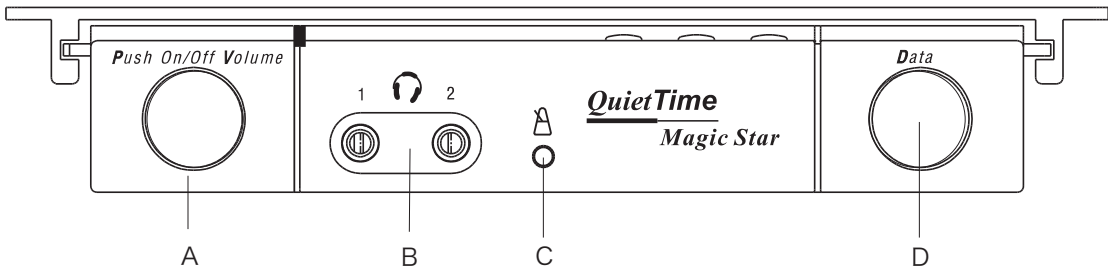


消音レバー



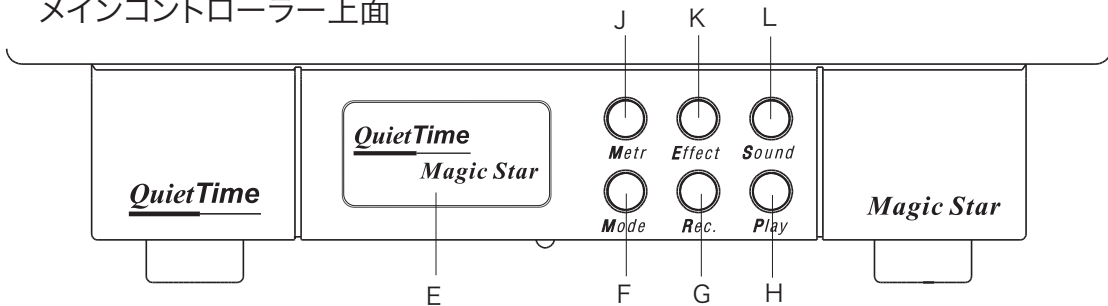
## II. 各部の名称及び機能

### メインコントローラーの前面



- A 電源スイッチ : 消音システムの電源スイッチです、回すと音量ボリュームを調整できます。
- B ヘッドホンジャック : ヘッドホンをつなぎます。
- C メトロノーム表示 : メトロノームの動作時に拍子に合わせて点滅します。
- D データ : 各機能の数値を増減します、押すと設定値が決定されます。  
音色やメトロノームを選択時に押すと、デフォルト値に戻ります。

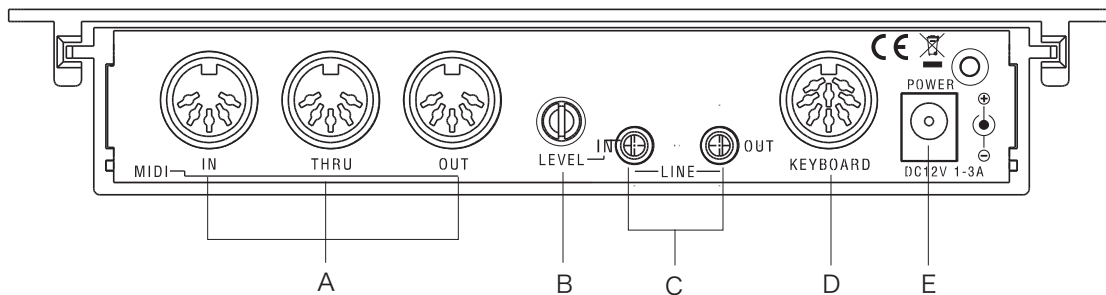
### メインコントローラー上面



- E LCDディスプレイ : 本体の操作を見やすく表示します。
- F モード : 様々な機能を選択します。
- G レコード : 演奏を録音します。
- H プレイ : 録音した内容を再生します。
- J メトロノーム : メトロノーム設定に切り替わり、押すとスタート、再度押すとストップします。
- K エフェクト : 様々な演奏効果を設定する状態になります。
- L サウンド : 色々な楽器音を選択する状態になります。

---

## メインコントローラー後面



- A MIDI IN / OUT / THRU : 外部MIDI機器と接続します。
- B LINE IN LEVEL : 外部オーディオの音声入力レベルを調節します。
- C LINE IN / OUT : 外部オーディオ機器と接続します。 OUTの音量は本体ボリュームと連動します。
- D KEYBOARD : 鍵盤センサーとコントロールユニットを専用ケーブルで接続します。
- E DCジャック : 専用アダプターにより本体へ電源を供給します。

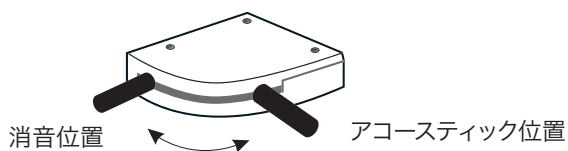
### III. 消音ユニット基本操作

---

MAGIC STAR 消音ユニットはアコースティックピアノの演奏はもちろん、必要に応じて消音状態での演奏が可能です。また外部機器を接続した多彩な方法での演奏には取扱説明書をよく読んでご使用ください。

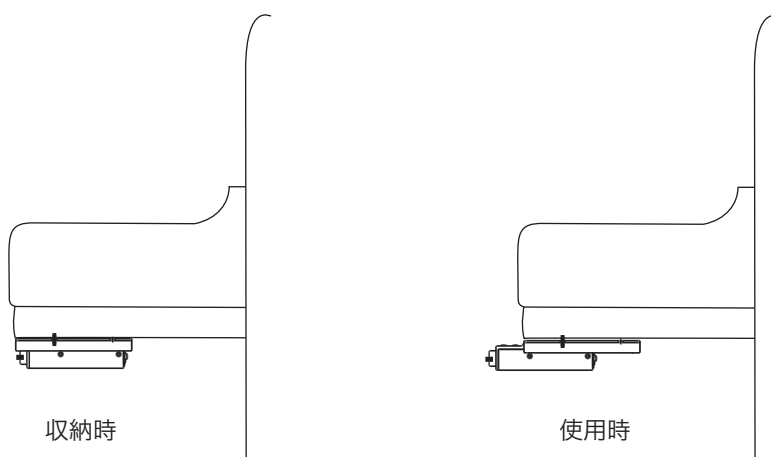
#### 基本操作

1. 電源アダプターの接続をご確認ください。
2. 消音レバーを手前に引きます。

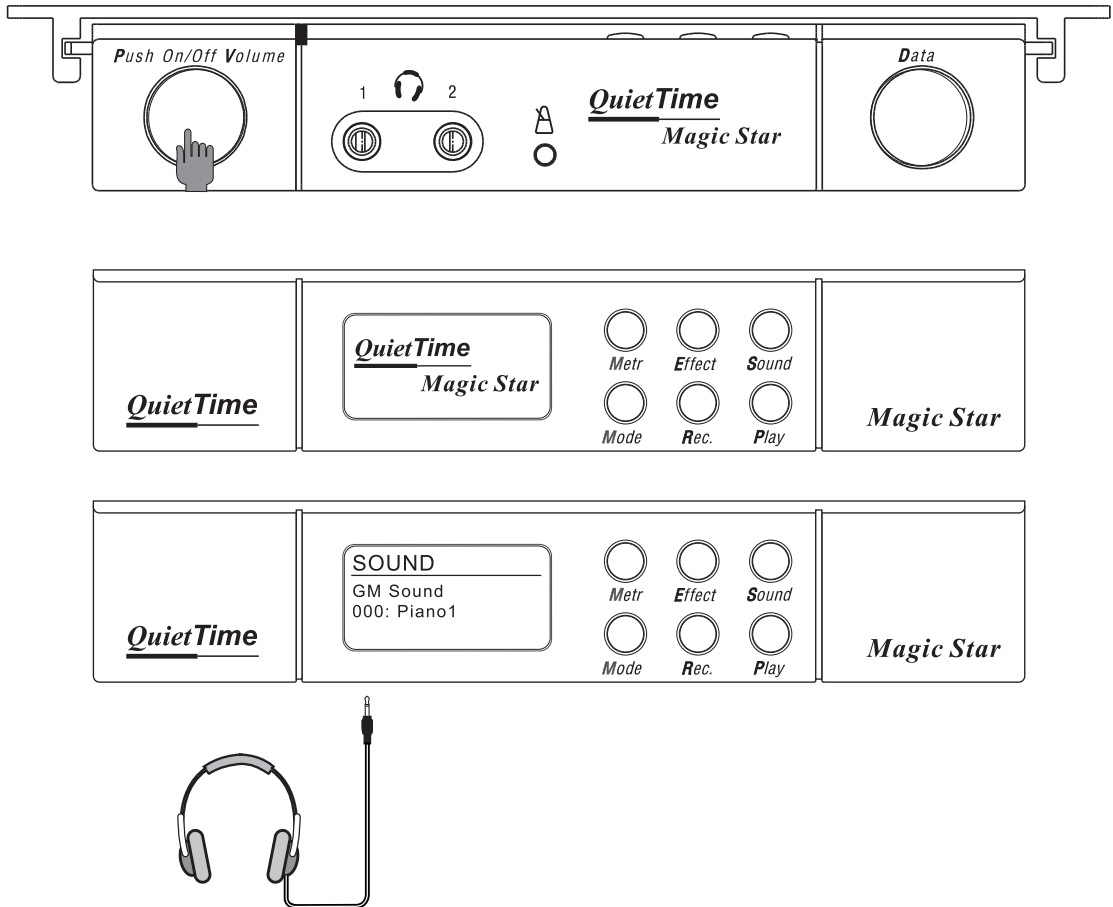


消音レバーを手前に引きます。

使用時にはメインコントローラーを手前に引きます。



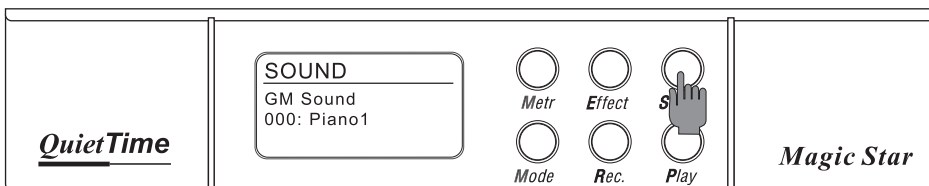
3. 本体の電源を入れると「QUIET TIME MAGIC STAR」の表示が出ます。  
しばらくした後に「SOUND」の表示に変わります。



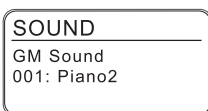
4. 付属の専用ヘッドホーンを奥までしっかり差し込みます。
5. ボリュームにて音量を調整してください。長時間の演奏や特に子供さんの演奏時には音量の調整に気をつけましょう。

Magic Star 消音ユニットにはデジタルピアノと同じように、多彩な音色での演奏が可能です。  
 色々な音色で演奏を楽しんで見ましょう。

1. [Sound] を押すとサウンドモードになります。



2. [Mode] を押し GM、Preset Sound、User Presetのいずれかを選択します。  
 [Data] を回すと楽器音が選択できます。



- ・GMサウンド128音色を選べます。  
 音色表は18ページをご参考ください。



- ・ユーザーが設定する3音色です。



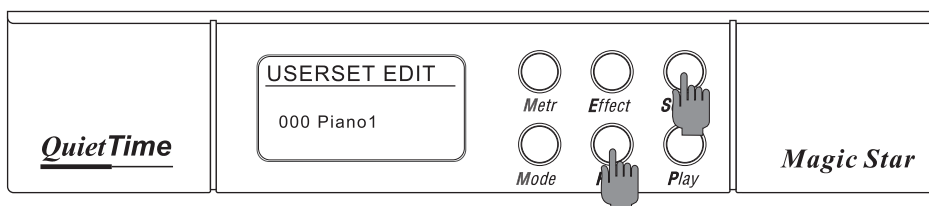
- ・工場出荷時にあらかじめ設定された11音色です。

P 1	Piano 1	P 7	Cembalo
P 2	Piano 2	P 8	Electric Piano
P 3	Piano 1+ Fast Strings	P 9	Church Organ
P 4	Piano 1+ Slow Strings	P 10	Piano 2+ Fast Strings
P 5	Fast Strings	P 11	Piano 2+ Slow Strings
P 6	Slow Strings		

## USERSET EDIT (ユーザーエディット)

ユーザーが音色効果や、ピッチなどを変更した設定をメモリーできます。

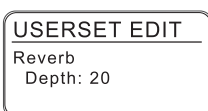
1. [Sound] と [Rec] を同時に押すとエディットモードになります。



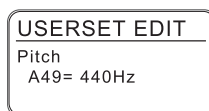
2. [Mode] を押すと順に変更できる項目が表示されます。

[Data] で設定値を変更します。

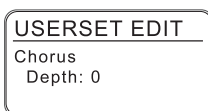
全て、設定後に [Rec] を押すとメモリーされます。



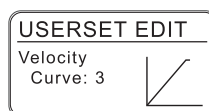
リバーブ  
0～127



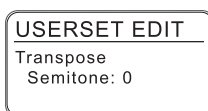
ピッチ  
438Hz ~ 445Hz



コーラス  
0～127



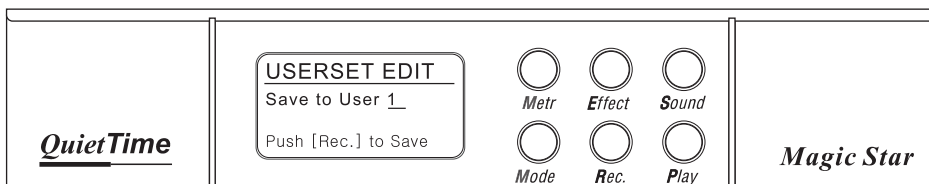
ベロシティ  
1～5(グラフ表示)



トランスポーズ  
-24 ~ +24 半音

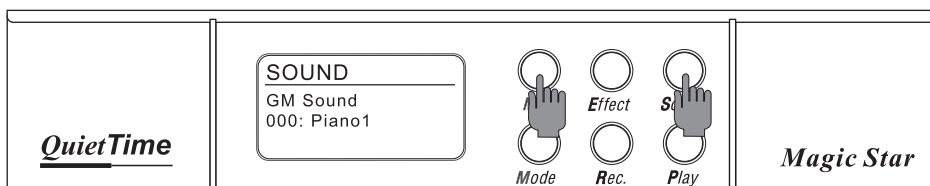
3. [Data] でメモリーする User No.を選びます。

[Rec] を押すとメモリーされます。



起動時のサウンドプリセットを設定できます。

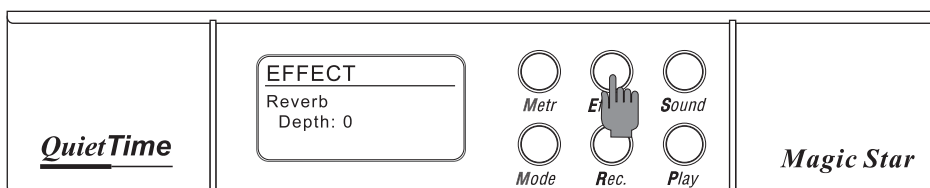
1. まず、[Sound] 状態で設定するプリセットを選択します。
2. [Sound] と [Metr] を同時に押すとシステム設定モードになります。  
この状態で [Mode] を押し、“Start from Current Preset” メッセージが表示されましたら、[Data] を押します。



3. 設定完了後に電源を切り、再び電源を入れると設定したプリセットより表示されます。
4. 設定を無効にするには [Mode] を押し、“Fireware Version” 確認モードで [Data] を押します。

エフェクト効果を変更できます。

1. [Effect] を押すと機能調節モードになります。



2. [Mode] を押すと、設定項目が順に表示されますので、[Data] で設定値を変更します。

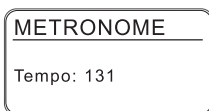
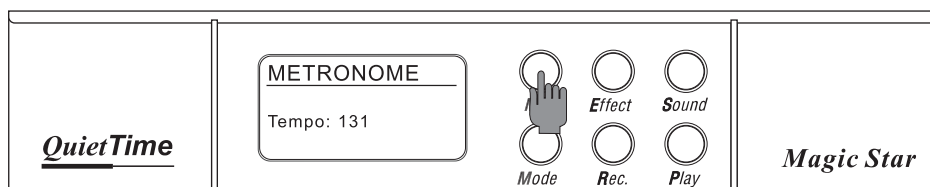
<b>EFFECT</b> Reverb Depth: 0	リバーブ 0～127	<b>EFFECT</b> Pitch A49= 440Hz	ピッチ 438Hz ~ 445Hz
<b>EFFECT</b> Chorus Depth: 0	コーラス 0～127	<b>EFFECT</b> Velocity Curve: 3	ベロシティー 1～5(グラフ表示)
<b>EFFECT</b> Transpose Semitone: 0	トランスポーズ -24 ~ +24 半音		

3. [Effect] での設定値は、内蔵プリセットサウンドとユーザープリセットには反映されません。

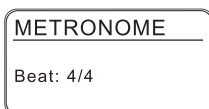
# METRONOME

本ユニットには、メトロノーム機能が内蔵されています。

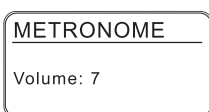
1. [Metr] を押すとメトロノームモードになります。
2. [Metr] を押すとスタート、再び押すとメトロノームがストップします。
3. [Mode] を押すと、設定項目が順に表示されますので、[Data] で設定値を変更します。



- ・デフォルトのテンポは 120 に設定されています。
- ・[Data] にて速さを調整します。
- ・可変範囲 25～250



- ・デフォルトの拍子は 4/4 に設定されています。
- ・[Data] にて拍子を変更します。
- ・可変範囲 1/2～4/2、1/4～8/4、1/8～9/8



- ・デフォルトの音量は 5 に設定されています。
- ・[Data] にて速さを調整します。
- ・可変範囲 1～9

## Note:

- ・メトロノームの拍子に合わせ表示が下記のように変化します。

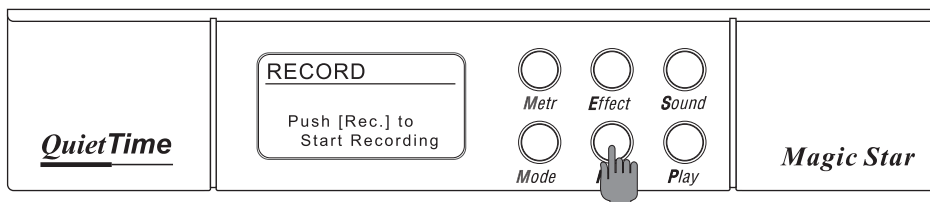
	強拍	弱拍
Sound	Tick	Tack
LED Indicator	Red	Green

## 録音再生

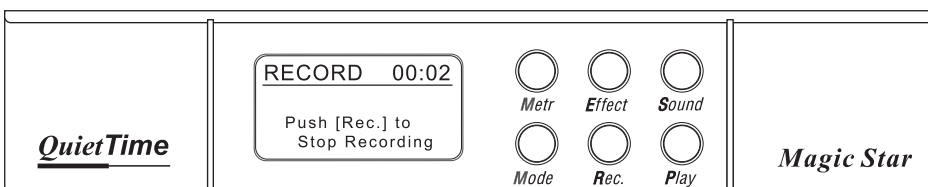
Magic Star 消音システムにはレッスンに便利な録音再生機能が内蔵されています。

録音内容は電源を切ってもメモリーされていますが、録音時の楽器音色はメモリーされません。

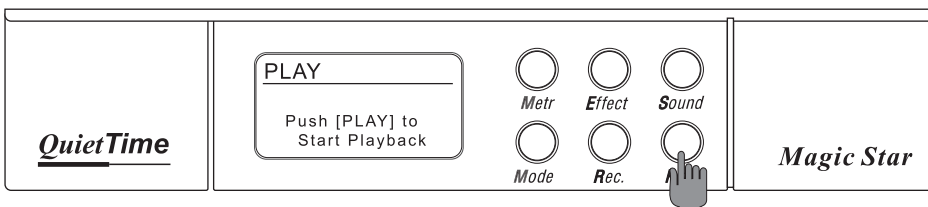
1. [Rec]を押すと録音モードになります。



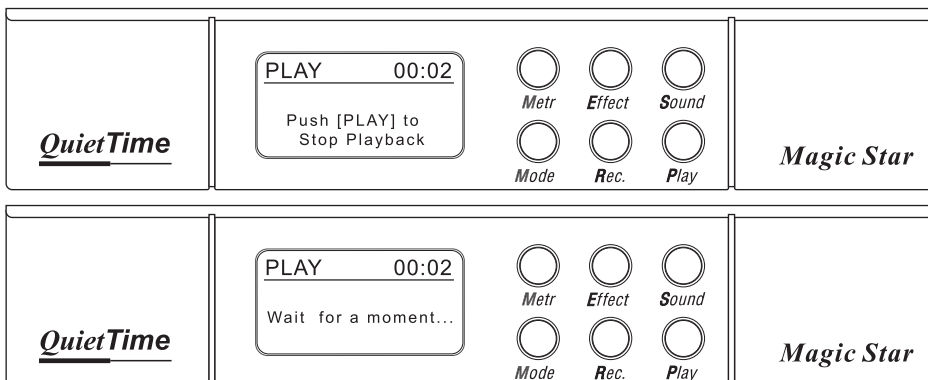
2. もう一度 [Rec] を押すと録音が始まります。  
再度 [Rec] を押すと録音が終了します。



1. [Play]を押すと再生モードになります。

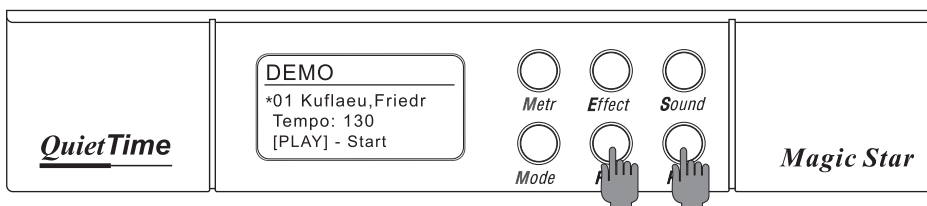


2. もう一度 [Play] を押すと録音が再生されます。  
再度 [Play] を押すか、演奏が終わると再生が終了し、通常の演奏モードになります。

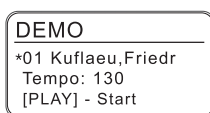


# Demonstration Song

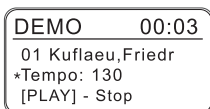
[Rec] と [Play] ボタンを同時に押すとデモ演奏モードになります。



1. [Mode] で曲選択、テンポを選びます。  
[Play] を押すとデモ演奏スタート、再度押すと演奏ストップします。



カーソルが曲名にある時に [Data] で曲名を変更します。



カーソルが Tempo にある時に [Data] でテンポを変更します。

2. デモ演奏中、[Data] でテンポを変えることができます。  
1 曲演奏が終わると自動的に次の曲が演奏されます。  
デモモードを終了するには、演奏停止中に他のボタンを押します。

## デモ曲一覧

1	Kuflau, Op.88, No1 1st movemet	11	Guritt, Op.36, No6 1st movemet
2	Kuflau, Op.88, No1 2nd movemet	12	Guritt, Op.36, No6 2nd movemet
3	Kuflau, Op.88, No1 3rd movemet	13	Guritt, Op.36, No6 3rd movemet
4	Keller, Oswin	14	Haydn, XVI/13, 3rd movemet
5	Clementi, Op36, No4 1st movment	15	Beethoven, Op.49, No2 1st movemet
6	Clementi, Op36, No4 2nd movment	16	Beethoven, Op.49, No2 2nd movemet
7	Clementi, Op36, No4 3rd movment	17	Mozart, K545, 1st movemet
8	Clementi, Op36, No6 1st movment	18	Mozart, K545, 2nd movemet
9	Clementi, Op36, No6 2nd movment	19	Mozart, K545, 3rd movemet
10	Kuflau, Op.88, No3 3rd movemet	20	Mozart, K331, 3rd movemet

## ピアノ鍵盤で操作する多機能の呼び出し

本システムでは本体のデータ操作以外に [Mode] ボタンを押しながらピアノ鍵盤に割り当てられた多彩な機能呼び出すことができます。

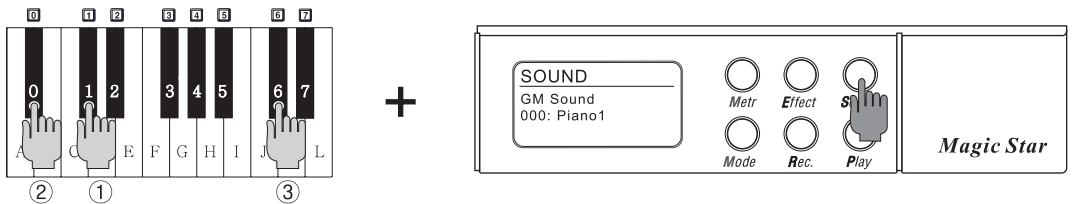
### A. 128音色を選ぶ

[Sound] ボタンを押しながら鍵盤上に指定された数字を組み合わせて 000番より127番までの音色を選ぶことができます。

音色NO.は 18ページ GM 音色表をご参照ください。

#### 例) 106番を選択する場合

[Sound]を押しながら "1" に該当する C#1 (1), "0" に該当する A#0 (0), "6" に該当する C#2 (6) の順に押した後に [Mode] ボタンを離します。



### B. 鍵盤ペロシティカーブ(鍵盤感度)調整

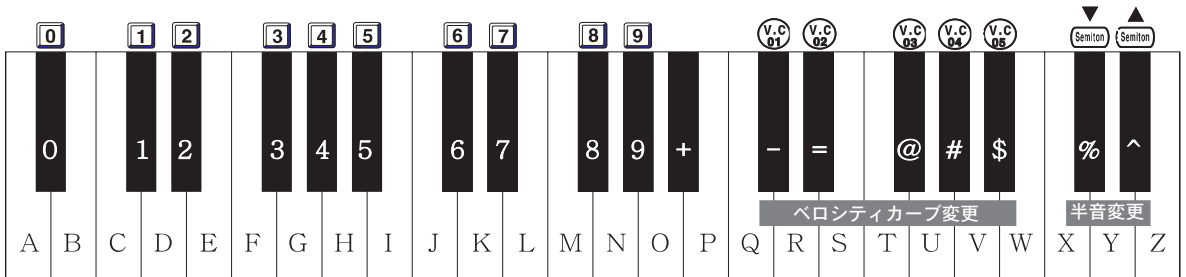
[Sound] ボタンを押しながら鍵盤に割り当てられたペロシティカーブ1~5のより選びます。

鍵盤を弾いた時の重さが変わった感じがします。基本設定は3になっています。

また、オルガン演奏のように強弱が必要でない場合は、ペロシティ OFF に設定できます。

該当鍵盤	ペロシティカーブ	鍵盤の重さ
29: C#3	Velocity Curve 1	重く感じる
31: D#3	Velocity Curve 2	少し重く感じる
34: F#3	Velocity Curve 3	普通(基本値)
36: G#3	Velocity Curve 4	少し軽く感じる
38: A#3	Velocity Curve 5	軽く感じる
70: F#6	OFF	鍵盤ペロシティ OFF
72: G#6	ON	鍵盤ペロシティ 有り

あくまでも弾き心地ですので実際の鍵盤の重さは変わりません。



### C. キートランスポーズ(移調)

[Sound] ボタンを押しながら指定鍵盤にて半音上げ下げ、オクターブ上げ下げができます。

[Sound] ボタンを押しながらリセット鍵盤を押すと元のキーに戻ります。

該当鍵盤	設定範囲	設定値
41:C#4	- 24半音	半音下げ
43:D#4	+ 24半音	半音上げ
46:F#4	- 2オクターブ	オクターブ下げ
48:G#4	+ 2オクターブ	オクターブ上げ
50:A#4	0	Reset (リセット)

### D. リバース、コーラス(音響効果)設定

[Sound] を押しながら指定鍵盤にてリバース量、コーラス量の調整ができます。

[Sound] ボタンを押しながら指定鍵盤にてリバースタイプ、コーラスタイプを変更できます。

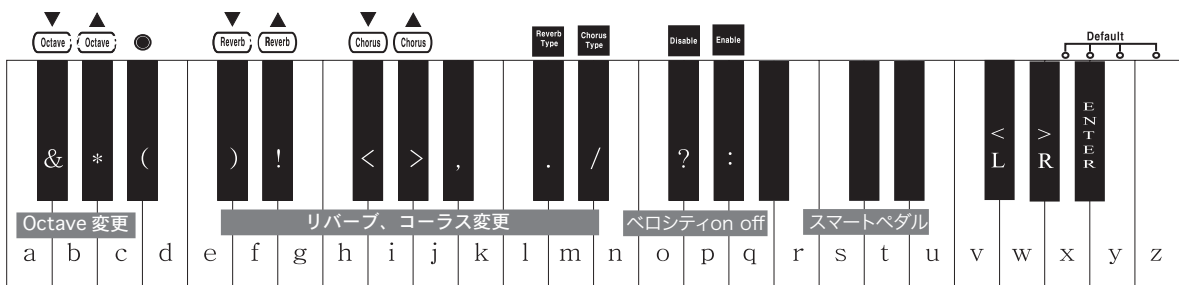
該当鍵盤	設定範囲	設定値
53: C#5	000	Reverb 値 down
55: D#5	127	Reverb 値 up
58: F#5	000	Chorus 値 down
60: G#5	127	Chorus 値 up
65: C#6	8 種類	Reverb type 変更
67: D#6	8 種類	Chorus type 変更

### E. スマートペダル設定

サステーンペダルに設定します。

ペダルを踏みながら演奏しますが、同時に弾いた鍵盤は同時発音しますが、新しい鍵盤を弾くと前の音が消えます。オルガン音色の演奏に効果的です。

該当鍵盤	設定範囲	設定値
76: C	OFF	スマートペダル OFF
78: D	ON	スマートペダル ON

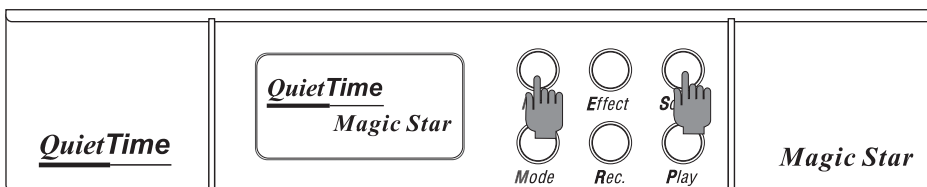


# GM音色表

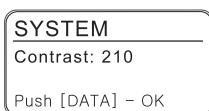
PIANO				
	000 Piano1	001 Piano2	002 Piano3	003 Hongky-tonk
	004 E.Piano1	005 E.Piano2	006 Harpsichord	007 Clavinet
Chromatic percussion				
	008 Celesta	009 Glockenspiel	010 Music Box	011 Vibraphone
	012 Marimba	013 Xylophone	014 Tubular- bells	015 Dulcimer
Organ				
	016 Organ1	017 Organ2	018 Organ3	019 Church Organ
	020 Reed Organ	021 Accordion	022 Harmonica	023 Bandneon
Guitar				
	024 Nylon-str.Gt	025 Steel-str.Gt	026 Jazz Guitar	027 Clean Guitar
	028 Muted Guitar	029 Overdrive Gt	030 Distortion Gt	031 Gt.Harmonics
Bass				
	032 Acoustic Bs.2	033 Fingered Bs	034 Picked Bass	035 Fretless Bs
	036 Slap Bass 1	037 Slap Bass	038 Synth Bass 1	039 Synth Bass 2
String / orchestra				
	040 Violin.	041 Viola	042 Cello	043 Contrabass
	044 Tremolo Str	045 Pizzicato St	046 Harp	047 Timpani
Ensemble				
	048 Strings0	049 Slow Strings	050 Syn. Str. 1	051 Syn. Str. 2
	052 Choir Aahs	53 Voice Oohs	054 Synth Vox	055 Ochestra Hit
Brass				
	056 Trumpet 1	057 Trombone	058 Tuba	059 Muted Trumpet
	060 French Horn	061 Brass	062 Synth Brass1	063 Synth Brass2
Reed				
	064 Soprano Sax	065 Alto Sax	066 Tenor Sax	067 Baritone Sax
	068 Oboe	069 English Horn	070 Bassoon	071 Clarinet
Pipe				
	072 Piccolo	073 Flute	074 Recorder	075 Pan Flute
	076 Bottle Blow	077 Shakuhachi	078 Whistle	079 Ocarina
Synth lead				
	080 Square Wave	081 Saw Wave	082 Syn.Calliope	083 Chiffer Lead
	084 Charang	085 Solo Vox	086 5th Saw Wave	087 Bass & Lead
Synth pad etc.				
	088 Fantasia	089 Warm Pad	090 Polysynth	091 Space Voice
	092 Bowed Glass	093 Metal Pad	094 Halo Pad	095 Sweep Pad
Synth SFX				
	096 Ice Rain	097 Soundtrack	098 Crystal	099 Atmosphere
	100 Brightness	101 Goblin	102 Echo Drops	103 Star Theme
Ethnic				
	104 Sitar	105 Banjo	106 Shamisen	107 Koto
	108 Kalima	109 Bag Pipe	110 Fiddle	111 Shannai
Percussive				
	112 Tinkle Bell	113 Agogo	114 Steel Drums	115 Woodblock
	116 Taiko	117 Melo Tom	118 Synth Drum	119 Reverse Cym
SFX				
	120 Gt.FretNoise	121 Breath Noise	122 Seashore	123 Bird
	124 Telephone	125 Helicopter	126 Applause	127 Gun Shot

## その他の設定

LCD ディスプレイのコントラストを調整します。



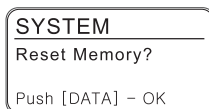
1. [Metr] と [Sound] を同時に押すとシステム設定モードになります。  
[Mode] ボタンで "Contrast" を呼び出します。



[Data] で明るさを調整します。調整後に [Data] を押すとメモリーされます。

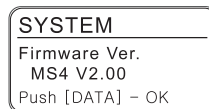
User Presetを初期化します。

1. [Metr] と [Sound] を同時に押すとシステム設定モードになります。  
[Mode] ボタンで "Reset Memory?" を呼び出します。



[Data] を押すと、User Presetメモリーが消去されます。  
消去しない場合は [Mode] ボタンで "Firmware Version" 確認モードを呼び出し  
[Data] ボタンで一般演奏モードに復帰します。

ファームウェア バージョンの確認



[Metr] と [Sound] を同時に押すとシステム設定モードになります。  
[Data] ボタンを押すと、一般演奏モードに戻ります。

Firmware Version とは本システムのバージョンを表すものであり、ユーザーが特に設定するものではありません。

## 故障かな?と思われる前に

症 状	思われる原因と解決方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源コンセントがしっかり入っているか確認する。</li><li>• アダプターの連結部、ユニット本体の電源プラグにしっかり入っているか確認する。</li></ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>• ヘッドホーンがしっかり差し込まれていますか?</li><li>• ボリュームが適当な大きさになっていますか?</li><li>• 鍵盤を弾いた時にユニット前面の MIDI 信号受信が点滅するかを確認します。点滅しない場合、本体と鍵盤をつなぐケーブルがしっかり入っているか確認します。</li><li>• システムの初期化をします。</li></ul>
一部の鍵盤だけが音がでない	<ul style="list-style-type: none"><li>• 消音システムを再初期化します。初期化方法をよく読み正確に初期設定してください。</li></ul>
雑音聞こえる	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本システムは付属のヘッドホーンの許容量以上のボリュームが出ますのでボリュームを下げてください</li><li>• ヘッドホーンに異物が入っていないか確認する</li></ul>
ペダル動作がおかしい	<ul style="list-style-type: none"><li>• ペダル機能を個別に設定できるモデルではペダル毎の機能設定に熟知し設定してください。</li></ul>
ピアノ音もれる	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本システムの消音機構はシャンクストップ方式を採用し、アコースティックピアノ演奏時の影響を最小限におさえる調整方法をとるため、最大のフォルテシモ等での演奏時に若干の音もれのするおそれがあります。音もれを完全に止める取り付け調整も可能ですがその際は生ピアノ演奏時のタッチが通常よりも浅く感じられることがあります。</li><li>• 消音演奏時にマフラーペダル(ピアノの真中のペダル)が OFF になっていることを確認ください。(アップライトピアノ)</li><li>• どうしても音もれが気になる場合、もしくはメゾフォルテ程度の演奏においても音もれのする場合は取り付け販売店、技術者にご相談ください。</li></ul>

## システムの初期設定（アップライト、グランド共通）

本システムは消音状態で、演奏者だけがデジタルピアノ音を聞くことができるように、音を再生するよう鍵盤の下で、センサーが鍵盤の動きに合わせて、光を遮断することによる信号を、本体のスキャンプログラムにより再生に必要な MIDI 信号に変換しています。本システムは、アナログ検出方式光センサーを採用しているため、取付けた後に、鍵盤とキーセンサーの感度調整を、システム初期設定により、最適な感度によるデジタル音再生を行います。

※初期設定作業は取付け技術者が入力いたします。初期設定入力作業は、引っ越しまたは誤操作などでデータが不安定になった場合に行いますが通常はお客さまが入力されることはありません。

### A. 初期化の前に

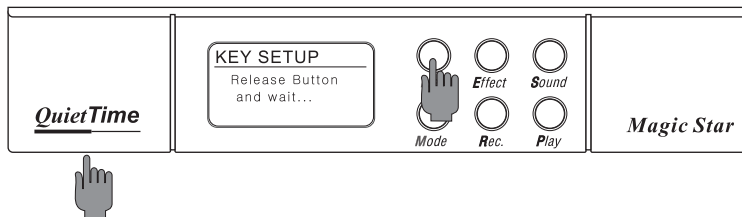
- (1) 本システムの配線連結が完全であること
- (2) 消音レバーが消音位置にあること
- (3) 設定前に鍵盤が押されていないこと
- (4) レットオフ等の消音システムに合ったピアノ調整が済んでいること

### B. 初期設定モード

#### (1) アップライトピアノ

[Metr] ボタンを押しながら電源を入れる。

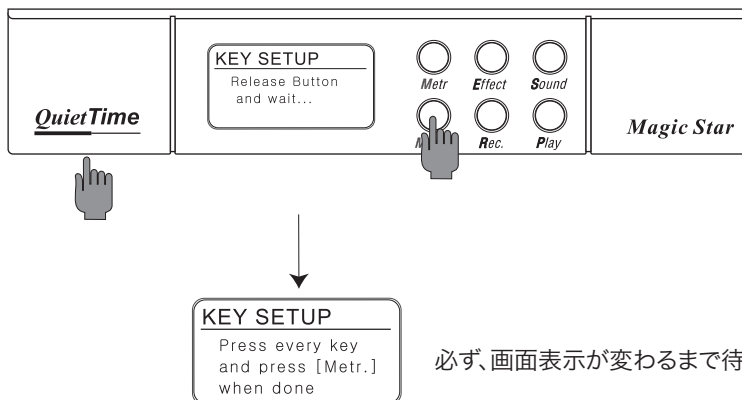
ボタンを両方離し、入力待機状態になるまで待ちます。



#### (1) グランドピアノ

[Mode] ボタンを押しながら電源を入れる。

ボタンを両方離し、入力待機状態になるまで待ちます。



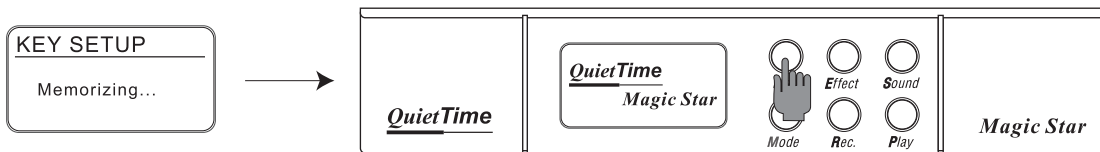
## システムの初期設定 (アップライト、グランド共通)

---

(2) 88鍵盤を全てメゾフォルテぐらいの強さでしっかりと弾きます。  
弾く順序や重複は影響しませんが必ず全ての鍵盤を弾くこと  
また、重複して弾いた場合、あとで弾いた価が入力されます。

(3) 88鍵盤を弾いた後に [Metr] ボタンを押します。

鍵盤データのメモリーが完了しますと下記の画面に変わりますので演奏可能となります。



初期化データのメモリーはアップライト、グランド共に[Metr]ボタンで終了します。

注) 初期化は鍵盤の深さの変化、引っ越し、長期間使わなかった時など、システムが不安定時に再設定されることお勧めします。

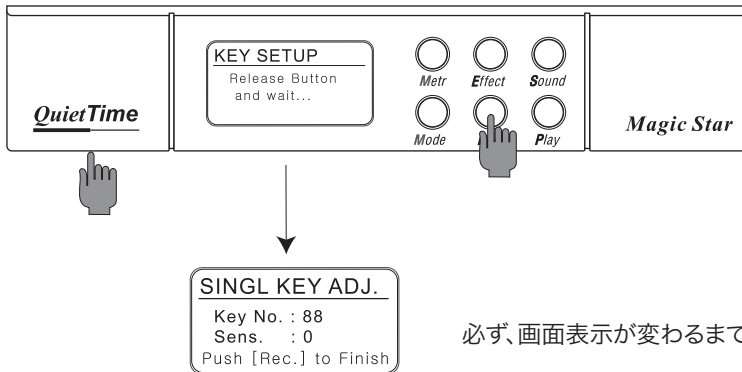
## 鍵盤ごとの感度調整 (ボリューム調整、アップライト、グランド共通)

キーセンサーの初期設定にて、各鍵盤ごとの感度は自動調整されますが、若干の鍵盤ごとの音量の違いが出る場合は、下記の作業にてボリュームの微調整が可能です。

### A. 鍵盤感度の個別調整

(1) [Rec] ボタンを押しながら電源を入れます。

ボタンを両方離し、データ変更待機状態になるまで待ちます。



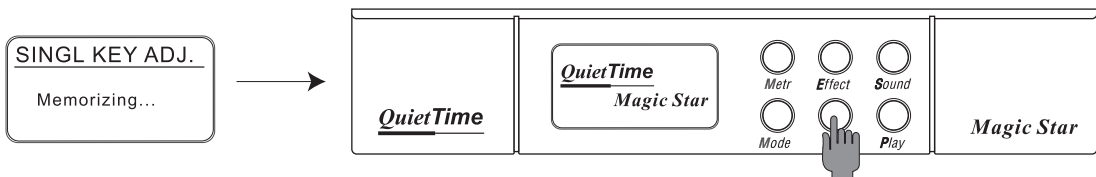
(2) ヘッドホーンを装着のうえ、鍵盤を弾き音を聞きながら、調整すべき鍵盤を探します。

調整が必要であれば [Data] ボタンにて音量を微調整します。

- ・最後に打鍵された鍵盤が調整されていますのでよく確認ください。
- ・調整範囲は000～256です。
- また、表記の数値は絶対音量を表すものではありませんので、ご注意ください。

(3) 上記の方法にて繰り返し他の鍵盤も音量調整します。全体の鍵盤の調整が終わりましたら

再び [Rec] ボタンを押しますと、変更されたデータが本体にメモリーされ、演奏状態になります。



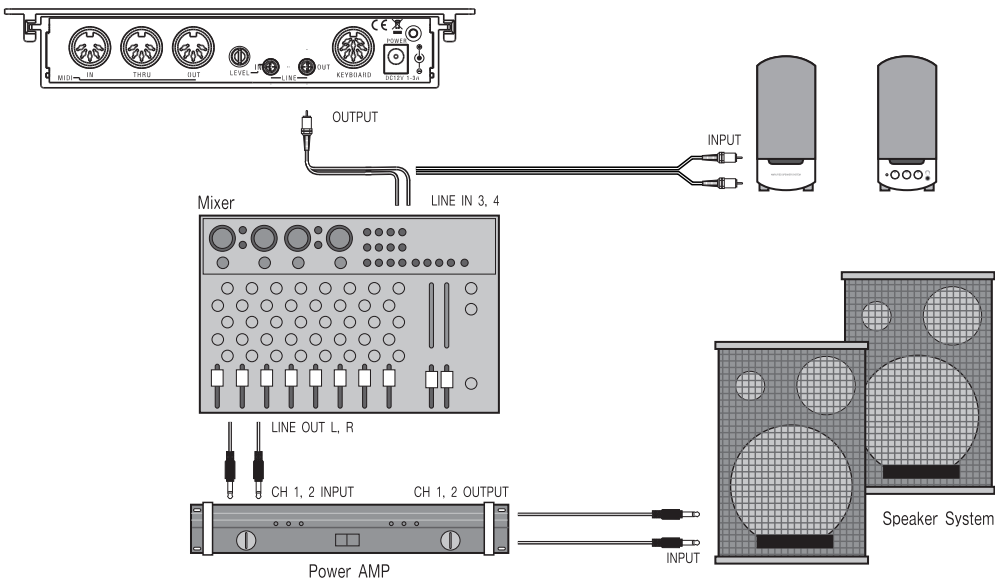
## 他のオーディオ機器との接続

本体にはオーディオ入力及び出力端子がありますので、外部オーディオ機器と接続し外部スピーカーより音を出したり、外部オーディオの音を聴きながら練習することができます。

オーディオケーブルにて接続し入力、出力レベルを調節の上ご使用ください。

### A. 外部スピーカーより聴く場合

- (1) 本体オーディオ出力端子より外部オーディオ入力端子にオーディオケーブルにて接続する。  
外部オーディオの入力レベルを調節の上オーディオ出力ボリュームを調整します。
- (2) オーディオ端子よりの出力レベルは本体よりレベル調整が可能であり、外部オーディオでも出来ますのでオーディオ機器の容量を超過しないように調整が必要です。
- (3) オーディオ端子より、ステレオミニプラグを使用してください。



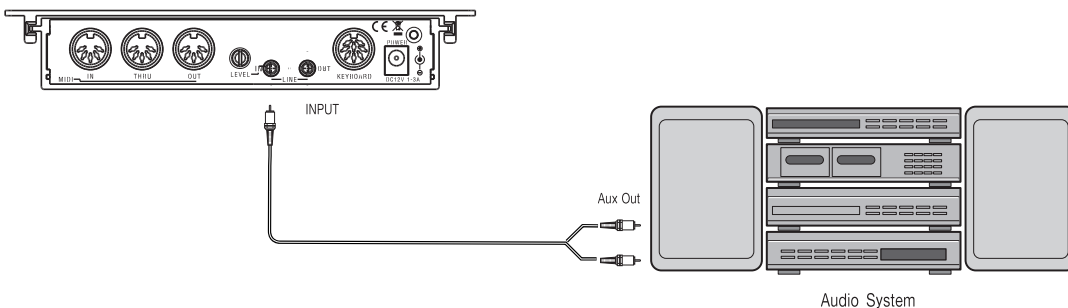
### B. 外部オーディオ機器を演奏を聴きながら弾く

CD, Tape, MP3などより再生される音を聴きながらの演奏を本システムを簡単な接続で出来ます。

オーディオケーブルを使って外部オーディオ出力アウトと本システムのオーディオ入力端子を接続します。

オーディオケーブル(RCA Jack)または1/8"ステレオプラグが使用可能ですので機器に合ったケーブルをご用意ください。

本体への入力レベルは背面の [input LEVEL] ツマミで調整できます。



## 他のMIDI機器との接続

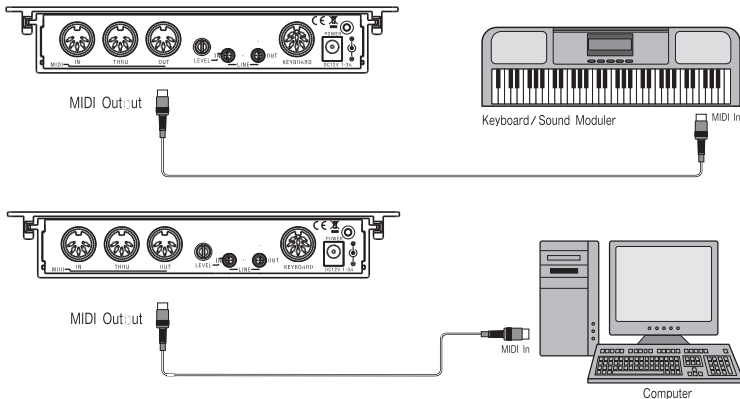
本ユニットはGM音源対応となっております。

外部MIDI 機器との送受信はMIDI Implementation Chartをご参考ください。

### A.外部 MIDI 機器に送信

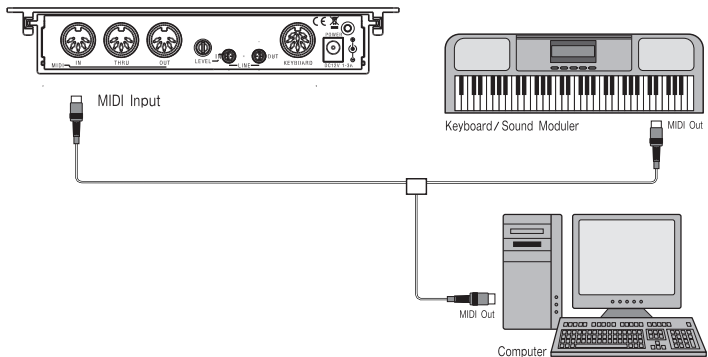
本ユニットを演奏し他のMIDI機器のサウンドを鳴らすことや、MIDIプログラムを利用してコンピューターへ情報を送ることができます。

- (1) 本体の MIDI OUT 端子と外部機器の MIDI IN 端子を MIDIケーブルにて接続します。
- (2) 外部 MIDI 機器の入力を設定し使用します。
- (3) 本システムは Pre-Set 音色を選択中のチャンネルを使って送信した場合が外部機器が正確に鍵盤情報を受けることができないことがありますので、(14ページ)鍵盤操作による音色選択にて 000 : P に切り替え送信すると88鍵盤が単一チャンネルにて出力されます。



### B. 外部 MIDI 機器よりデータ受信

- (1) 外部 MIDI 機器の MIDI OUT と本体の MIDI IN を接続します。
- (2) 本体は音源部として使用されるためパラメーター変更は外部機器コントロールによります。



# MIDI Implementation Chart

Function	Transmitted	Received	Remark	
MIDI Channels	1	1~16		
Mode	X	3		
Note Number	21~108	0~127		
Velocity				
Note On	9n,V=127	9n,V=127		
Note Off	9n,V=0	8n,V=0~127		
Key Aftertouch	X	X		
Channel Aftertouch	X	O		
Pitch Bend	X	O	±2 Octave Pitch Bend Sensitivity recognized	
Control Change				
	0,32	X	O	Bank Select
	1	X	O	Modulation
	6,38	X	O	Data Entry
	7	X	O	Main Volume
	10	X	O	Pan
	11	X	O	Expression
	64	O	O	Damper Pedal
	67	O	O	Soft Pedal
	91	X	O	Reverb Depth
	93	X	O	Chorus Depth
	98	X	O	NRPN LSB
	99	X	O	NRPN MSB
	100	X	O	RPN LSB
	101	X	O	RPN MSB
	120	X	O	All Sound Off
	121	X	O	Reset All Controllers
	123	X	O	All Note Off
Program Change	X	O (1~127)		

## Note:

1. Default Pitch Bend = 1 Semitone
2. Mode 1: OMNI On, Poly
3. Mode 2: OMNI Off, Poly

## 製品の仕様

	規 格	
モデル	Quiet Time (Magic Star) Piano silencer system	
消音システム	ハンマーシャンクストップ方式	
検出方法	アナログ連続式 可変位置検出	
ペロシティ	127段階	
鍵盤感度調整	鍵盤毎 個別調整可能	
タッチ感度	5段階調整可能	
ペダルセンサー	ダンパーペダル (スマートペダル設定可)、ソフトペダル、ソステヌート(グランド)	
音色数	16プリセット音(128 GM音源内蔵) メモリー容量:384Mbit	
同時最大発音数	128音	
エフェクト	リバーブタイプ	8種類
	リバーブ数値	000~127
	コーラス タイプ	8種類
	コーラス数値	000~127
キートランスポーズ	±24半音(2オクターブ)	
ピッチコントロール	標準 440Hz (438Hz~445Hz 可変)	
メトロノーム機能	テンポ(Tempo)	25~250
	拍子(Beat)	1/2~4/2、1/4~8/4、1/8~9/8
	音量(Volume)	0~9
デモ演奏	20曲	
録音再生	1トラック (約35,000音)	
ディスプレイ	LCD Display	
ヘッドホーン端子	1/8" x 2ヶ所(本体前面)	
MIDI端子	IN / OUT / THROU	
AUDIO端子	IN / OUT (STEREO) INPUT LEVEL CONTROLL	
電源アダプター	入力:AC 100~240 V, 出力:12 V, 3 A	
コントロール部外観寸法	収納時	150 W x 105 D x 30 H
	使用時	150 W x 130 D x 30 H

# 製品保証書

- ・ご購入後、正常な使用方法にておこ生じた故障につきましては下記の期間、無償で修理いたします。
- ・故障の際はお買い上げの販売店へご連絡ください

保証期間	本体	……………	1年間
	ヘッドホーン	……………	6ヶ月(持込修理)
	ACアダプター	……………	6ヶ月(持込修理)

## 無料修理規定

- 保証期間でも次のような場合は有料修理となります。
  - イ、使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - ロ、お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
  - ハ、火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  - ニ、取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
  - ホ、本書の提示がない場合。
  - ヘ、本書にお買い上げ年月日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - ト、消耗品の交換、仕様変更など。
- 保証期間内でも商品を修理窓口に送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客さま名

取扱販売店名

住所

電話

取付ピアノメーカー

機種

製造番号

納入日 年 月 日 技術者名

- ・取付技術者の方へ  
ユニット取付後、取付技術者名と取付日を上記へご記入ください。

総発売元

株式会社 朝日ピアノ

静岡県浜松市東区豊町3513-2

TEL 053-434-9636 FAX 053-434-9638